

ちょうふ市民討議会 2012 第3回実行委員会議事録

日時 2012年5月22日(火) 19:30より
場所 調布市文化会館たづくり 11階1102学習室

出席者 【実行委員】(敬称略)

阿部正幸(×) 榎本陽介(○) K. O(▲) 梶原良介(▲) A. K(▲)
小峯充史(○) 小山晃一郎(▲) 齋藤孝(×) 竹内一(×) 竹中富知男(×)
田中八栄子(▲) 谷口淳(○) 長谷川正(▲) 原島秀一(○) 平松明(▲)
廣瀬豊(×) 増田健治(▲) 宮澤学(○) 若松正晴(○) 和田勝幸(×)
安藤貴弘(○)

出席7名、遅刻・途中退出8名、欠席6名 計21名

出席者 【特別出席者・傍聴者】

—

【配布資料】 テーマ選定シート(記入済み)

【事前配信資料】 議事次第、テーマ選定シート(記入用)

1. 実行委員長挨拶 原島実行委員長
2. 出席者確認・特別出席者・傍聴者の紹介
・上記の通り
3. 資料の確認・書記任命 書記：増田運営副専務

4. 議題：

① 前回議事の確認

- ・メーリングリスト上で回覧された議事録の通り

② テーマ選定について

- ・各自、選定したテーマの発表
- ・各テーマについての意見交換

●安藤運営専務の選定したテーマ

- ①「放置自転車について」
- ②「深大寺地区、染地地区の利便性について」

安藤) 放置自転車については実際に困っている人が身の回りに多いため、市民の関心をひき、議論しやすいと思い選定した。

谷口) 放置自転車のテーマは、場所（調布駅前等）を限定しないほうが幅広い市民が対象になっていい。

小峯) 実行委員会として討議会へのテーマ投げかけ方としては、AかBどちらがいいかという部分まで踏み込んだ方がいい。

②を実際にテーマに決定した場合は、討議会参加者の方にはメリットとデメリット（利便性は良くないが自然は残した方がいいとかの）を提示する必要がある。また行政の受け入れという観点では、地区問題については行政が受け入れにくい可能性がある。

●小峯副実行委員長の選定したテーマ

- ①「小さな行政、大きな行政のどちらを望むか」
- ②「市民意識レベルの向上に向けて、どのような組織・手法が最も有効か」

小峯) 市民が行政に権利ばかり主張しているという現況を感じている。行政主体と市民主体、どちらに軸足を置くかを討議して頂きたいと思い選定した。

谷口) 手法についてまで討議会で議論するのか？

小峯) 手法まで選んで頂き、選ばれた手法に関し予算と人員を割いて頂くよう、行政に対し実行委員会として提言したいと考えている。

原島) このテーマに決定した場合、参加市民のみなさんに自分達がなにかしなければいけないという気付きを得て頂けるのではないかとと思う。

●若松委員の選定したテーマ

- ①「都市型農業の推進」
- ②「休耕農地を家庭菜園の貸与の実現化」

若松) 次の世代に対し何を教育するか、それを基にテーマを選定した。自然と向き合いモノづくりをしながら地域のコミュニケーションをはかり、それを子供の教育に活かしていくことを考えている。

市民討議会での期待できる効果に関しては、モラルある教育というのは長いスパンで見ると必要があると思っている。

小峯) 「農地は優遇化すべきか」というようなテーマだと討議会に投げかけやすいかもしれない。

●増田運営副専務の選定したテーマ

「地元企業との、就労支援につながるような連携強化の手法について」

増田) 選定シートに落とし込み切れなかったが、地元企業と地域とのつながりが弱いと感じている。その部分に対し、地元企業への調布市民の就労に関する市民目線の手法を用いることにより、就労と地域コミュニティという問題の双方を解決できないかと考え選定した。

小山) 調布だけではなく、日本全体のテーマのように思う。また討議会の参加者の方にどう議論して頂くかが不透明。

梶原) 実務上雇用のミスマッチは実感しているので、内容自体は面白いと感じた。またテーマの投げ方としては、「～～との連携」とあるのであれば相手方の調布市民も明記すべきだ。

増田) あまり十分に精査してない状態で持ってきたのでみなさんを混乱させてしまった。今年のテーマが課題解決型でいくということで、行政が発信できないような解決策を討議会で議論できればと考えていた。

●宮澤委員の選定したテーマ

「市役所出張所の適正配置・アクセス方法」
～公共交通機関でアクセス出来ますか？～

宮澤) 市役所等に手続きで出向く際に、公共交通機関の停留所等から距離が遠く不便さを感じるため選定した。

ミニバスも市役所等に停まらないのではあまり意味がないように感じている。
若松) 最近は行政サービスもコンビニ等でオンラインで行なうという方向に向かっている部分も関係しているのかもしれない。

小峯) 「ミニバスは市役所経由にすべきか」というテーマにすれば討議会に投げやすい。

原島) 宮澤委員の、ミニバスの利用者が少ない、という想いもテーマに表れているように思う。

●A.K委員の選定したテーマ

「調布市 IT 基盤の安全性の点検」

A.K) テーマとしては少々とっつきにくいと思っているが、対象となる調布市の内部系システムはなんでもいいが、私が IT に興味があったのでこの内容で選定した。

調布市の業務フローをみることにより、市民の市政への関心が高まるのでは、と考えている。また昨年の震災のような災害時にも対策が取られているのかを確認したかった。

ある世代を境に興味のないテーマになってしまうのは十分理解している。

原島) 昨年の震災の際にも、ある市で住民基本台帳すらバックアップをとっていなかったのは知っている。

谷口) 市が十分な対応をしている、と回答した場合の検証は？

A.K) それであれば次の討議会につなげることができる。

小峯) 年齢構成を 30~50 代に絞った討議会というのも面白いかもしれない。

●小山監査の選定したテーマ

- ①「品川通をつつじヶ丘から仙川まで延伸する必要があるのか？」
- ②「調布市防災マップにおいて洪水時に水害を受けることが予想される地域（染地、多摩川）の安全対策は万全なのか？」
- ③「幹線道路における電柱地中化は必要なのか？」
- ④「なぜ調布市には市立の幼稚園がないのか？」

小山) 賛成か反対かを判断するテーマがどうか、に絞ってテーマ選定を行なった。

- ③に関しては、賛成しか意見がでないのでテーマにならないかもしれない。
- 原島) ④に関し、入学等の補助金も都内では低い水準ときいたことがある。
- 平松) どれも非常に面白いが、行政にインフラの整備を要求するだけのものにならないよう注意したい。
- 梶原) ②に関し、今のままでは単に行政に万全なのかを確認するだけになってしまう可能性がある。②をテーマに決定する場合は、実行委員会で調査等、具体的なところまで踏み込む必要がある。
- 小峯) ④と関連して待機児童問題については、行政で解決して欲しいという思いは強くある。ただ今から動いても、体制が整う数十年後には状況が変わっていて無駄になる可能性が高いという話を聞いたことがある。
- なにかをテーマにすることによって、市立の幼稚園設立につながるような方向性のほうがいいかもしれない。
- 小山) ④に関しては、色々な選択肢があったほうが市民ニーズの多様化に対応できるのではと考えて選定させて頂いた。

●谷口副実行委員長の選定したテーマ

「調布市まちづくり基本目標 8 項目に従った評価・分析」

- 谷口) 参加頂いた市民の方に何が必要かを考えて頂きたく、去年自分が討議会に市民参加した経験から今回のテーマを選定した。
- 前回の実行委員会時、調布市の「基本構想素案」説明のなかで「まちづくり基本目標 8 項目」の説明が行われたが、「まちづくり基本目標 8 項目」に従った市の現状評価が報告されなかった。「まちづくり基本目標 8 項目」の 8 テーマについて討議会にてアンケート方式による質問を行い、評価の低いテーマ & 評価の高いテーマの二つを課題とする。この二つの課題の問題点について話し合い解決策を検討する。
- 田中) 基本構想に関わっていたので補足説明させて頂くと、基本構想とはこうであれば理想ですねという要望。
- 基本目標を協議・評価するのは面白いが、全てでは時間が足りないと思う。
- どれか一つに絞り込んで議論するといいテーマになるのでは。
- 梶原) 基本構想がインプットであれば、その結果が市政にどう反映されたのかのアウトプットを討議会で検証すると面白いのでは。
- 小峯) 市では市民意識調査を行なっているのでそれで検証している可能性がある。
- また、討議会の人数と基本構想の市民会議の人数では母体差が違うので提言としては弱くなってしまう可能性がある。

谷口) 評価、検証はいくらあってもいいと思っている。

●梶原委員の選定したテーマ

- ①「小さなコミュニティー（自治会レベル）の繋がりを強化するためには」
- ②「郷土愛を育む教育プログラムとはなにか」

梶原) 市民のみなさんに考えて欲しい、という部分は先の谷口委員と同じ。

テーマ等を考える場合、誰かになにかしてもらおうという方向性に行きがちである。そうではなく、自分達に何が出来るのかを考えてもらうという観点から選定した。

自分の中にも考えはあるが、主婦の方など全く違う立場の意見が聞いてみたいと思いテーマにあげさせて頂いた。

●原島実行委員長の選定したテーマ

「地域で子育てを支援する有効な方法について」

原島) お母さん方と子育てについて話す機会があるが、核家族化が進み気軽に相談できる方が身近にいないと嘆いている方が多い。その子育ての不安感が児童虐待の一因とみられている。この現状を踏まえテーマを選定させて頂いた。

市内にある「こども家庭支援センターすこやか」のあり方も含めて、子育ての悩みを継続的に支援する場の創出まで討議会を通して行ないたいと考えている。

調布市は「すこやか」があることを強みとしているように感じるが、「すこやか」に行かれたお母さん方と話す様々問題があり、実際には「すこやか」だけでは解決していないことがわかる。

③ その他

次回実行委員会に関し

- ・ 齋藤委員、竹中委員の選定したテーマは、本人不在のため次回実行委員会時に発表して頂く。
- ・ 後日、原島実行委員長より「テーマ選定のポイントについての一覧表」をメンバーングリスト上にて配布する。

- ・ 委員は各自、次回実行委員会までに自分の選定したテーマについて一覧表を作成する。

5. 報告事項

—

6. 次回実行委員会開催日の決定

日時： 2012年6月5日（火） 19:30より

場所： 調布市文化会館たづくり 11階1102学習室

7. 閉会挨拶 若松委員